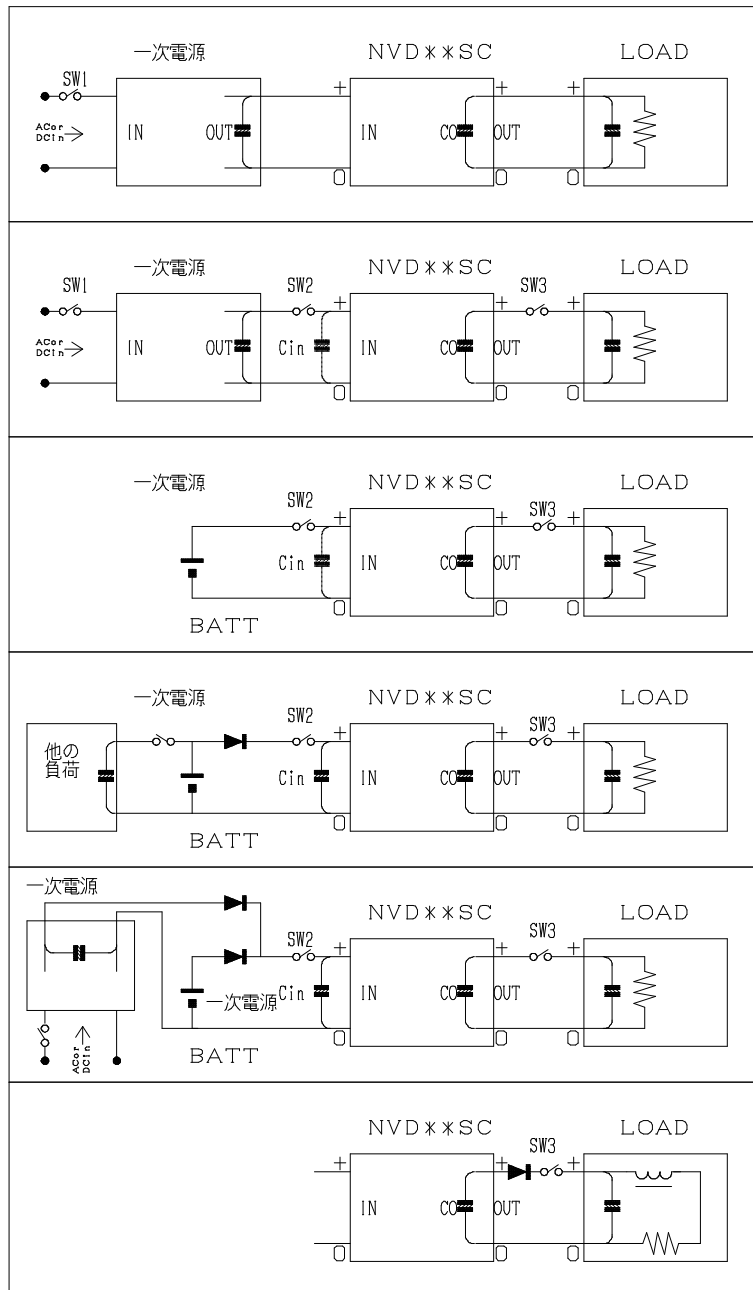


- * L O A D側総容量は（ $1 / 2 \times \text{総容量} [F] \times V_o \times V_o$ ）が1．3以下の事。
- * パルス負荷であってもピーク電流値は定格電流以内である事。
- * 入力開閉等により発生する最高電圧はパルス幅に関係なく入力許容電圧の上限値以内である事。
- * 出力端に外部より別電圧源を並列接続は出来ません。（直列運転，並列運転は原則不可です。）
- * 接続条件によっては，下記外付け部品を必要とします。

入出力接続条件による外付け部品（使用上の絶対条件）



外付け部品不要

SW 3 常時閉ならば外付け部品不要
SW 3 の開閉時に，N V Dの入力電圧に上昇が認められるならば入力部に C i n を必要とします。

SW 3 常時閉ならば外付け部品不要
一次電源がバッテリーでSW 2 の開閉によりN V Dの入力電圧にトランジェント電圧が発生する場合は入力部に C i n を必要とします。SW 3 の開閉は の項と同様の判断が必要です。

一次電源が他の負荷等により急峻にディップする場合は入力部に図示のダイオードと電解コンデンサ C i n が必要です。

無停電システム等で左記の様に逆流防止ダイオードがある場合はN V D入力部に電解コンデンサ C i n を必要とします。

L O A DのL 性負荷等によりN V D ** S Cの出力端に回生エネルギー等を逆流させる事は出来ません。出力の一方に逆流阻止のダイオードが必要です。又 S WによりL O A D側Cのみをチャージアップする場合も布線のL成分により回生する場合があります。

部品の選択

1，入力部の電解コンデンサ

- ** S C 1 2 2 5 V 2 2 0 μ F 許容リップル電流 0．5 A 以上
- ** S C 2 4 5 0 V 2 2 0 μ F 許容リップル電流 0．5 A 以上
- ** S C 4 8 8 0 V 8 2 μ F 許容リップル電流 0．2 A 以上

2，同ダイオード

定格は I F は定格入力電流以上のものでインラッシュ電流に耐えるもの V r mは最高入力電圧以上のものを選定し放熱板を必要とします。（例：SC12,SC24→D30SC4M/SINDENGEN,FMB3 4M/SANKEN, ,SC48→100[V]10[A]程度の汎用整流ダイオード）